

都民のスポーツ活動に関する実態調査〈概要〉

令和4年3月

調査実施の概要

1 調査目的

都民のスポーツ活動を把握することにより、今後の東京都におけるスポーツ振興のための目標設定や施策の検討に活用することを目的とする。

2 調査項目

- (1) スポーツに対する意識
- (2) するスポーツ
- (3) みるスポーツ
- (4) 支えるスポーツ
- (5) パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
 - (2) 標本数：4,000標本
 - (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
 - (4) 調査方法：郵送法（郵送送付・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
 - (5) 調査期間：令和3年10月1日～10月31日
 - (6) 調査実施機関：一般社団法人輿論科学協会
- （注）令和元年調査までは、3,000標本、個別訪問面接聴取法で実施

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）1,716標本（42.9%）〔うち郵送1,076標本、インターネット640標本〕
- (2) 未完了標本数（率）2,284標本（57.1%）

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

調査結果の概要

※ n は質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す

※ 個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある

※ M. A. はいくつでも選択

※ M. T. は回答の合計を n で割った比率

※ 令和元年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年以降は郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、調査結果を単純に比較することはできないので留意が必要

1 スポーツに対する意識

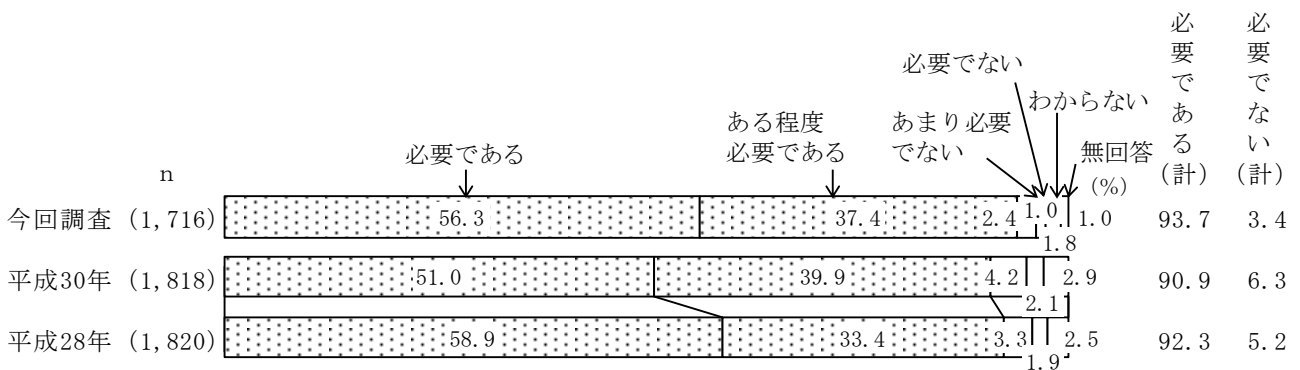
(1) スポーツに対する意識：

スポーツ活動全般（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベントの開催を含む）についてどの程度必要だと思うかを聞いた。

（本文 P3～P8）

・『必要である（計）』は94%（平成30年より3ポイント増加）

・『必要でない（計）』は3%（平成30年より3ポイント減少）



（注1）『必要である（計）』は「必要である」「ある程度必要である」の合計

『必要でない（計）』は「必要でない」「あまり必要でない」の合計

（注2）平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」

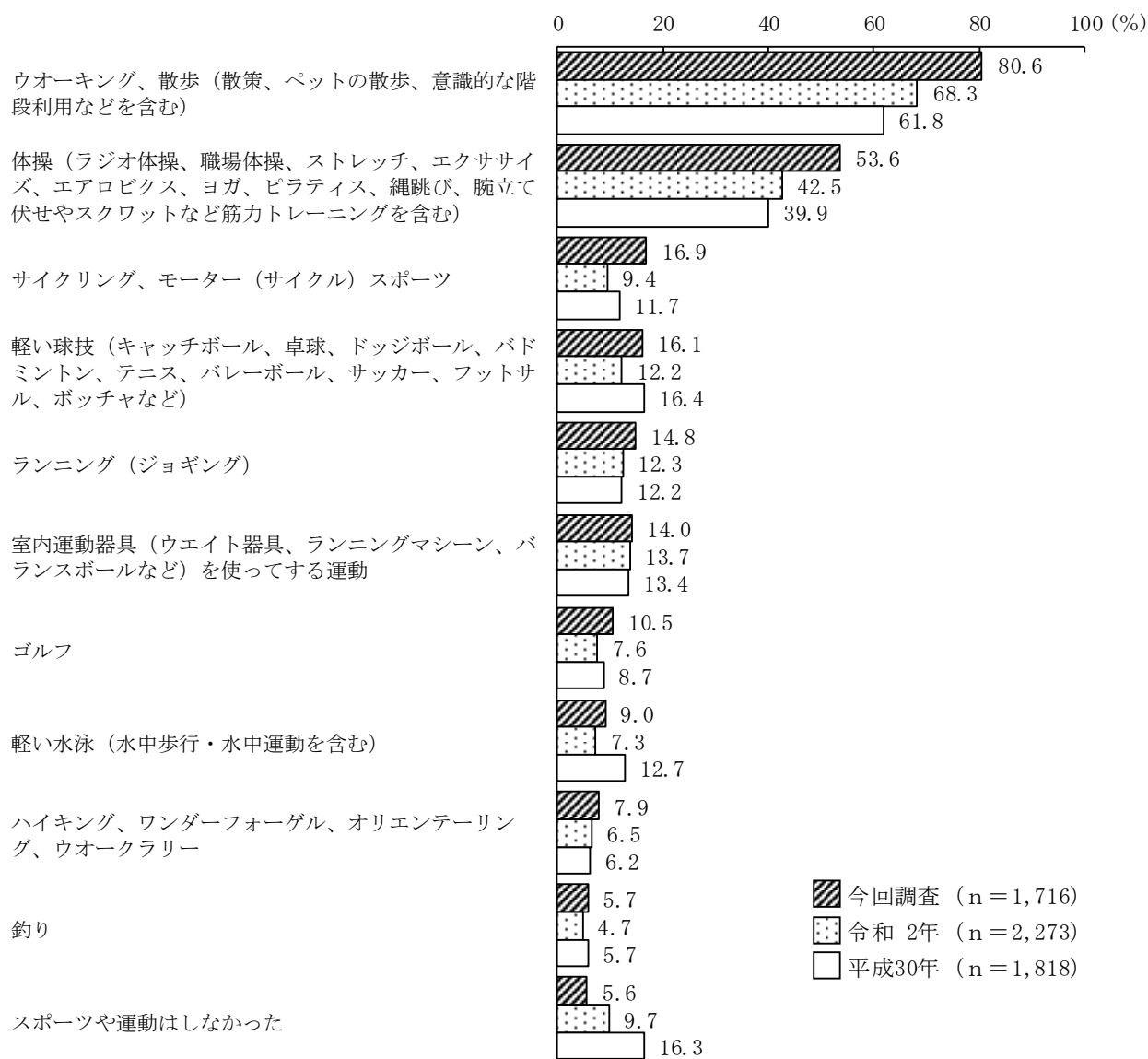
2 するスポーツ

(1) スポーツ・運動の1年間の実施状況：

この1年間に実施したスポーツや運動の種目を聞いた。(M. A.)

(本文P9～P15)

- ・「ウォーキング、散歩」が81%でトップ（令和2年より12ポイント増加）
- ・「体操」54%、「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」17%が続く
- ・「スポーツや運動はしなかった」は6%（令和2年より4ポイント減少）



(注1) 選択肢は全38種目のうち上位10種目と「スポーツや運動はしなかった」

(注2) 「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、腕立て伏せやスクワットなど筋力トレーニングを含む）」は、平成30年では「体操（ラジオ体操、職場体操、ストレッチ、エクササイズ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、縄跳び、筋力トレーニングを含む）」

(注3) 令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

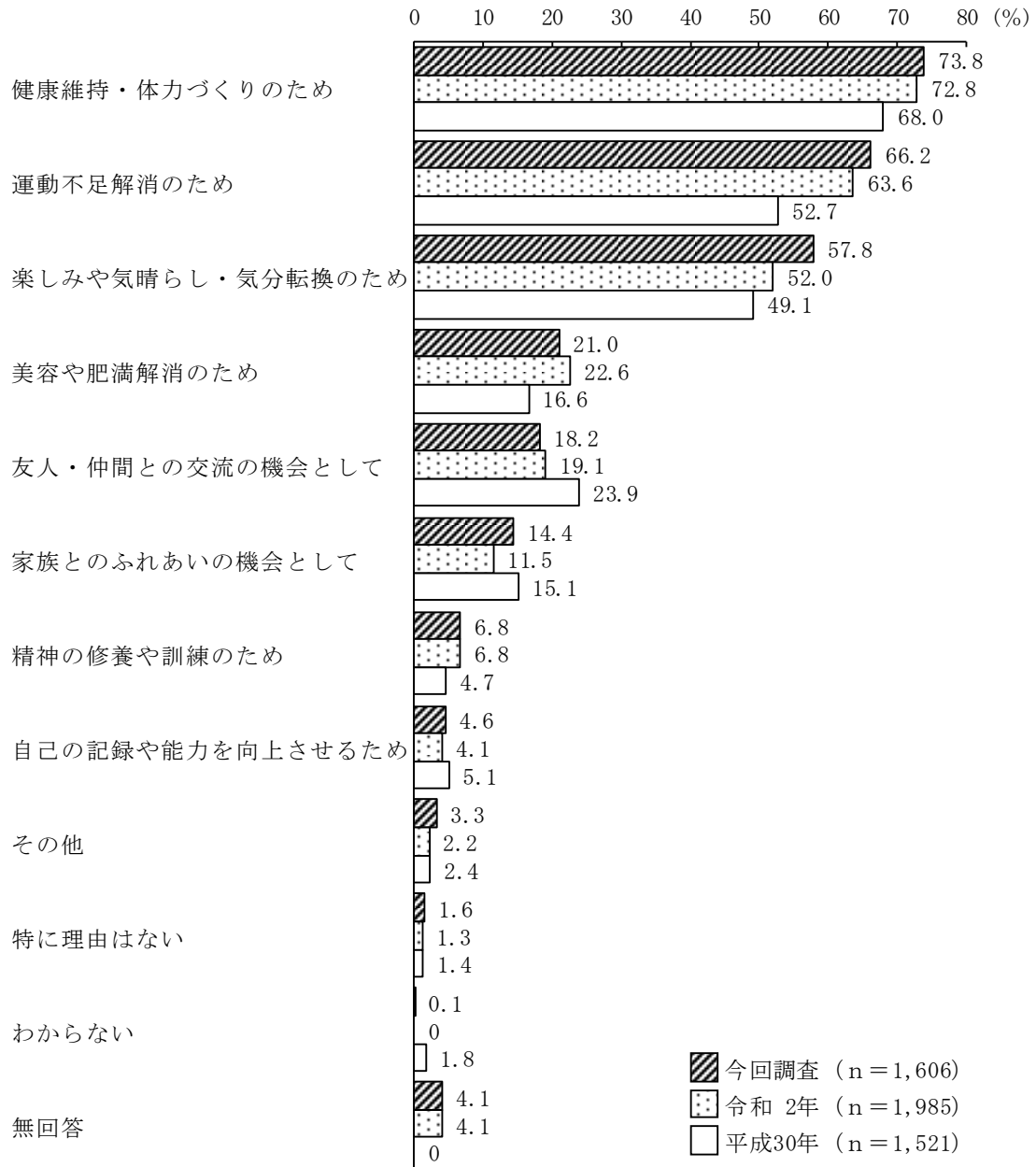
(2) スポーツ・運動を実施した理由：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,606人）に、実施した理由を聞いた。

(M. A.)

(本文P16～P18)

- ・「健康維持・体力づくりのため」が74%でトップ（令和2年より1ポイント増加）
- ・「運動不足解消のため」66%、「楽しみや気晴らし・気分転換のため」58%が続く



(注) 令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

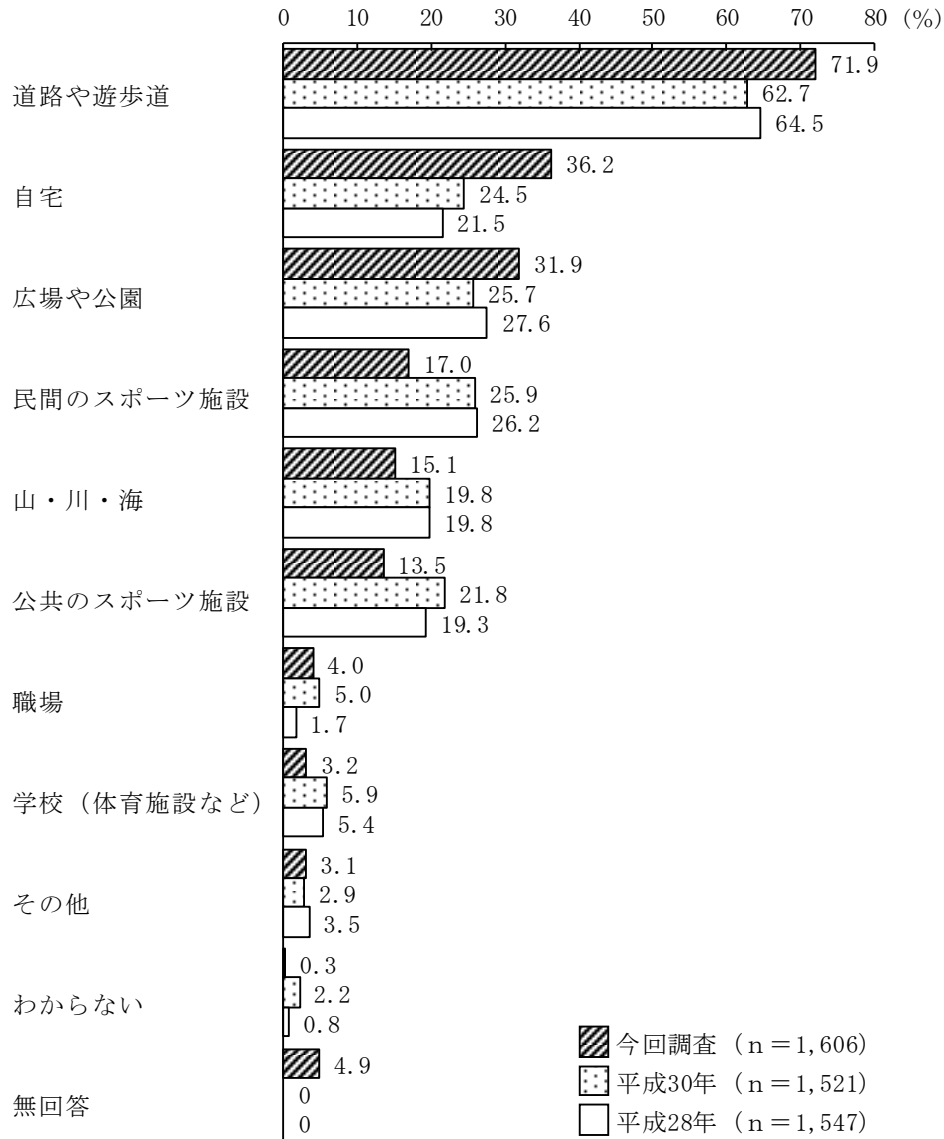
(3) スポーツ・運動を実施した場所：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人（1,606人）に、実施した場所を聞いた。

(M. A.)

(本文P19～P21)

- ・「道路や遊歩道」が72%でトップ（平成30年より9ポイント増加）
- ・「自宅」36%、「広場や公園」32%が続く



(注1) 「学校（体育施設など）」は平成28年では「学校の体育施設」

(注2) 「職場」は平成28年では「職場のスポーツ施設」

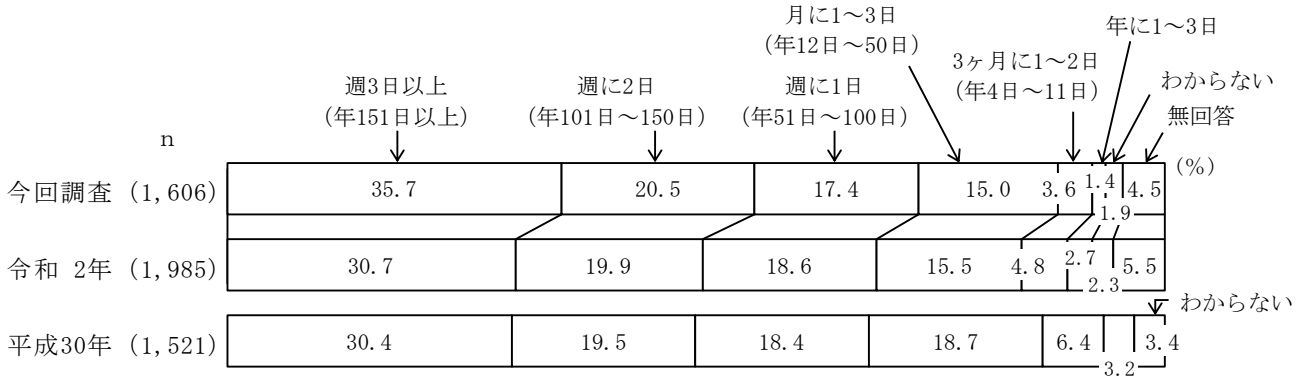
(注3) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」

(4) スポーツ・運動を実施した日数：

この1年間にスポーツや運動を実施したと答えた人(1,606人)に、スポーツ・運動を実施した日数を聞いた。

(本文P22～P26)

- ・「週3日以上」が36%でトップ(令和2年より5ポイント増加)
- ・「週に2日」21%、「週に1日」17%が続く



(注) 令和2年は「都民生活に関する世論調査(令和2年9月調査)」

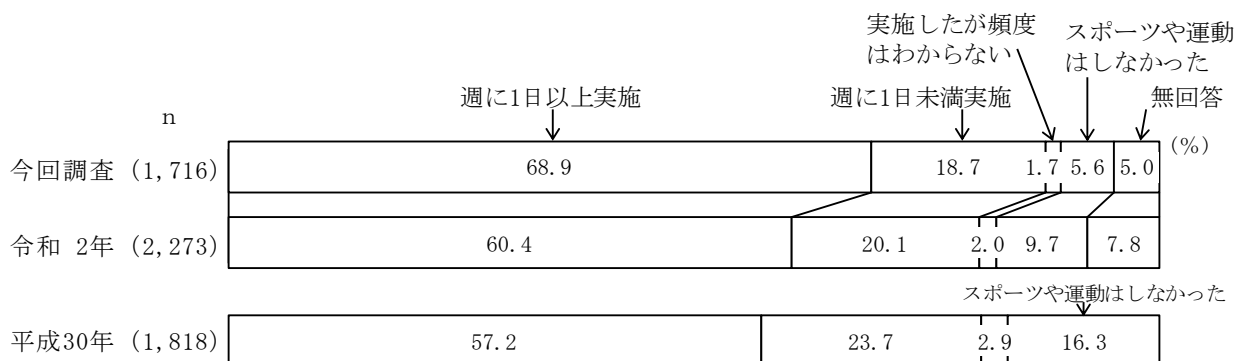
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」

[スポーツ・運動の実施頻度]

スポーツ・運動の1年間の実施状況とスポーツ・運動を実施した日数のそれぞれの回答から、スポーツ・運動の実施頻度を分類した。

(本文P27～P30)

- ・『週に1日以上実施』は69%(令和2年より9ポイント増加)
- ・『週に1日未満実施』は19%(令和2年より1ポイント減少)
- ・「スポーツや運動はしなかった」は6%(令和2年より4ポイント減少)



(注1) 『週に1日以上実施』は「週3日以上」「週に2日」「週に1日」の合計

『週に1日未満実施』は「月に1～3日」「3ヶ月に1～2日」「年に1～3日」の合計

(注2) 令和2年は「都民生活に関する世論調査(令和2年9月調査)」

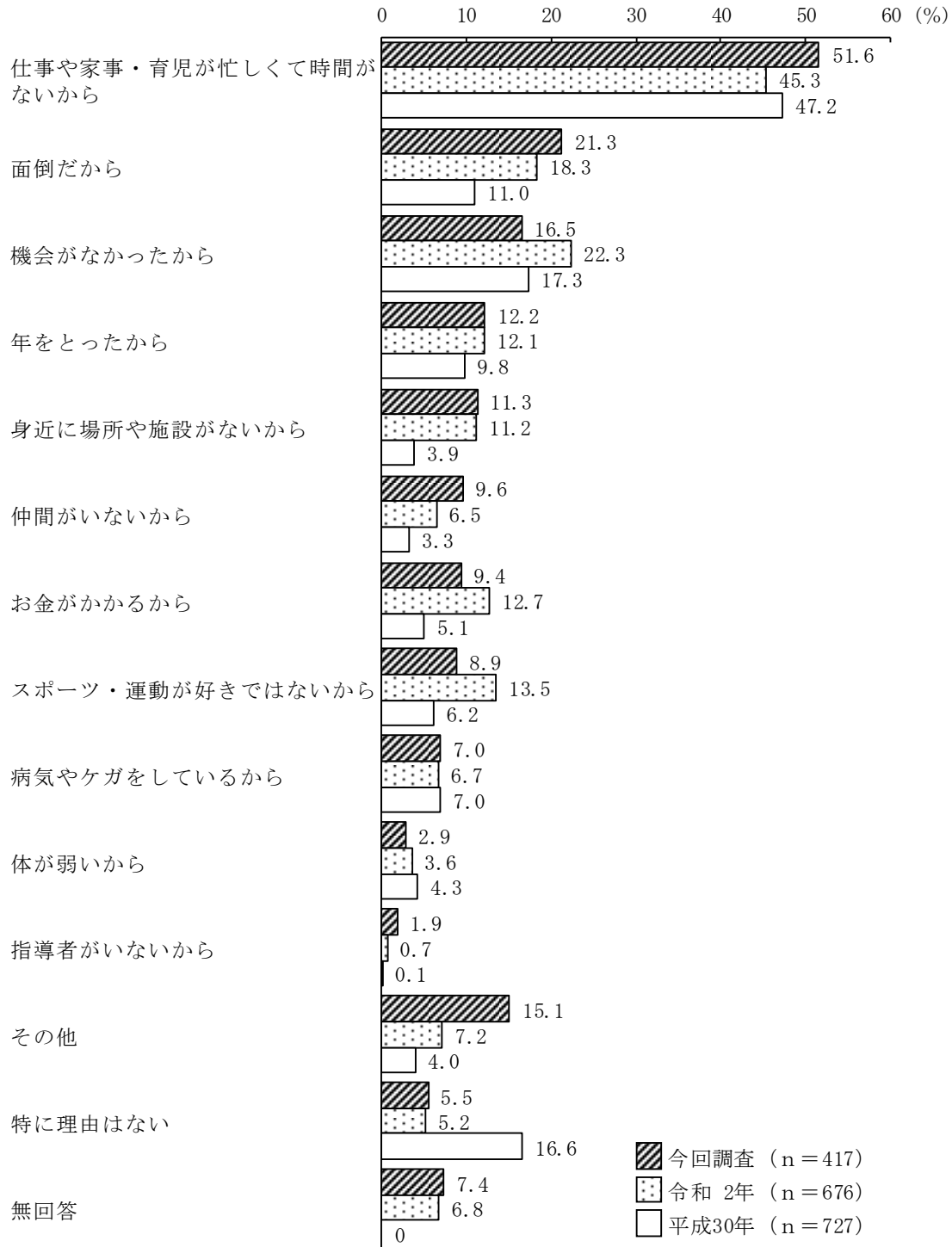
平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」

(5) スポーツ・運動を実施した頻度が週1日に満たなかった理由：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人（417人）に、その理由を聞いた。（M. A.）

（本文P31～P33）

- ・「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」が52%でトップ（令和2年より6ポイント増加）
- ・「面倒だから」21%、「機会がなかったから」17%が続く



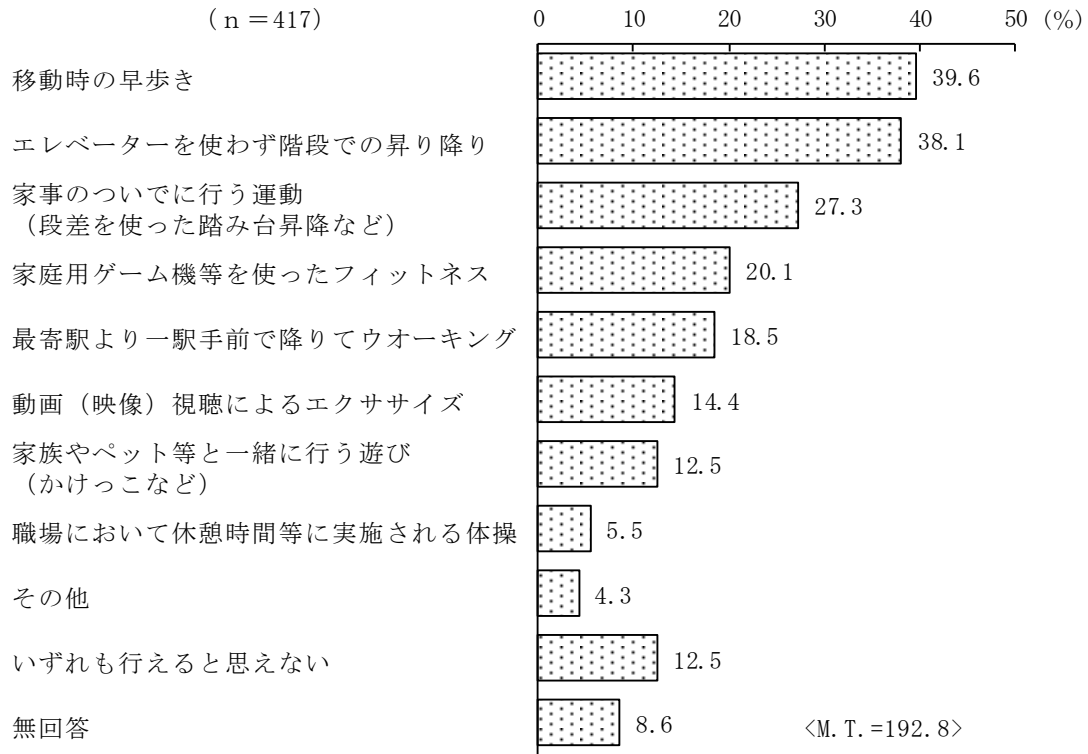
(注) 令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(6) スポーツ・運動をより頻繁に行える可能性：

この1年間に「スポーツや運動はしなかった」または、「週に1日未満」と答えた人(417人)に、今後どのようなスポーツ・運動であれば(より頻繁に)行える可能性があるかを聞いた。(M. A.)
(本文P34～P35)

- ・「移動時の早歩き」が40%でトップ
- ・「エレベーターを使わず階段での昇り降り」38%、「家事的ついでに行う運動(段差を使った踏み台昇降など)」27%が続く

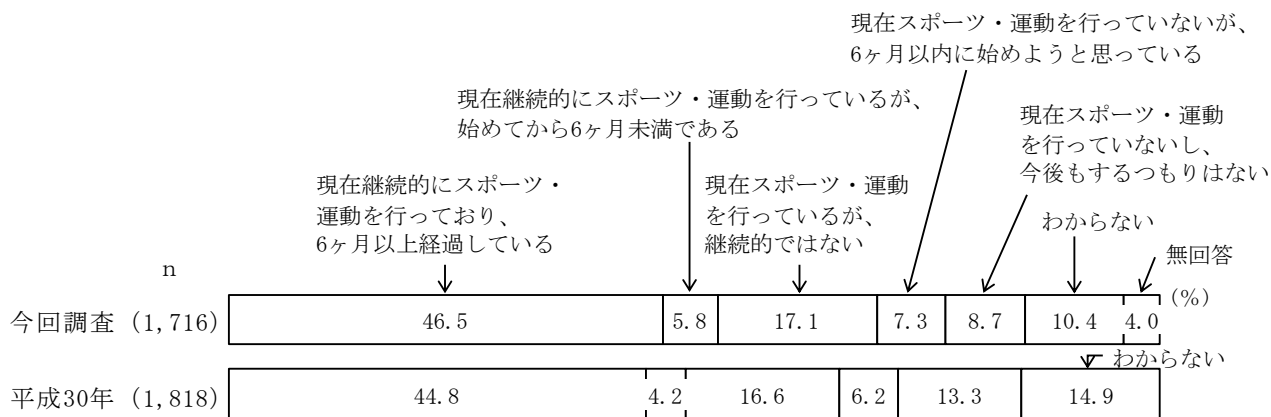


(7) スポーツ・運動に関する現在の実施状況と今後の意向：

スポーツ・運動に関する現在の実施状況または今後の意向について聞いた。

(本文 P 36～P 39)

- ・「現在継続的にスポーツ・運動を行っており、6ヶ月以上経過している」が47%でトップ（平成30年より2ポイント増加）
- ・「現在スポーツ・運動を行っているが、継続的ではない」17%、「現在スポーツ・運動を行っていないし、今後もしないつもりはない」9%が続く



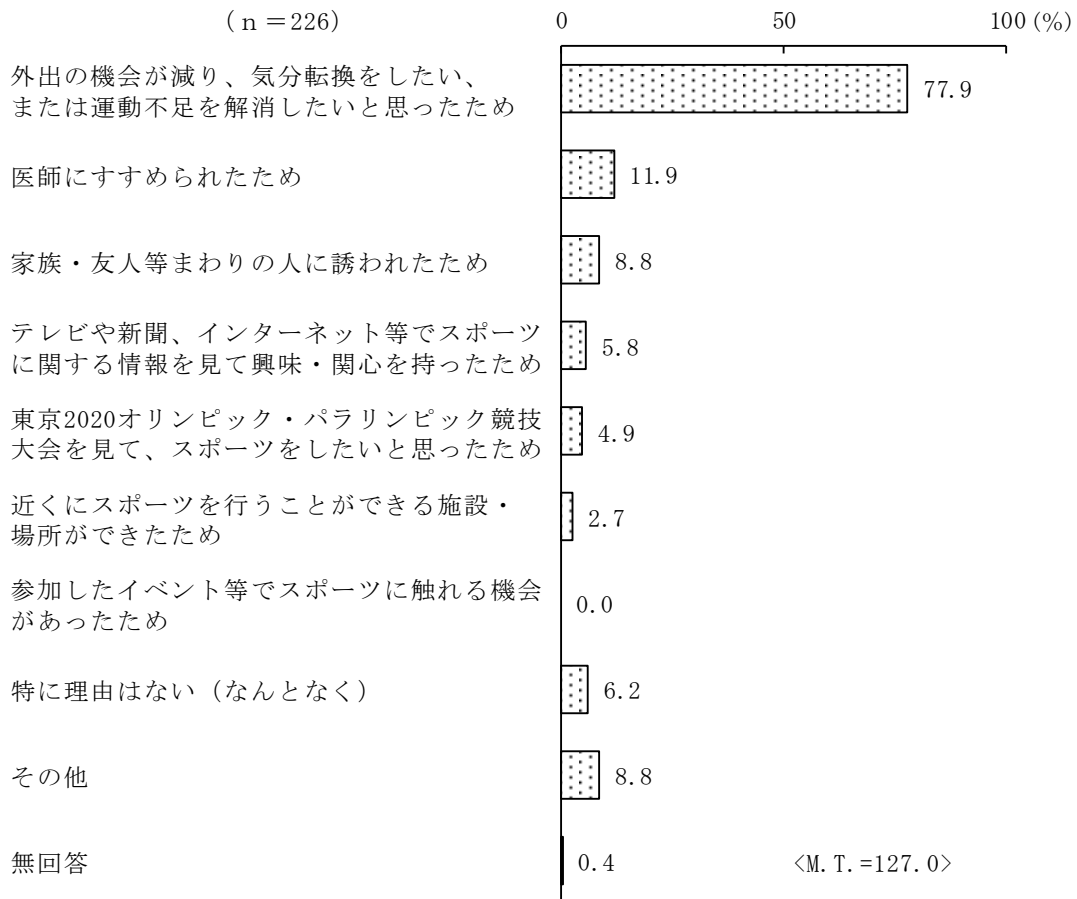
(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(8) スポーツ・運動を始めた（始めようと思っている）きっかけ：

「現在継続的にスポーツ・運動を行っているが、始めてから6ヵ月未満である」または、「現在スポーツ・運動を行っていないが、6ヵ月以内に始めようと思っている」と答えた人（226人）にスポーツを始めた（始めようと思っている）きっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P40～P41）

- ・「外出の機会が減り、気分転換をしたい、または運動不足を解消したいと思ったため」が78%でトップ
- ・「医師にすすめられたため」12%、「家族・友人等まわりの人に誘われたため」9%が続く

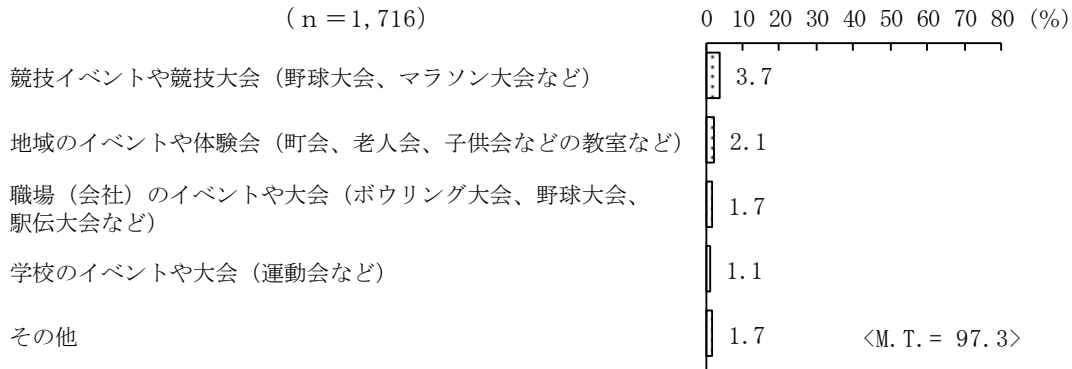


(9) この1年間のスポーツイベント、大会への参加状況：

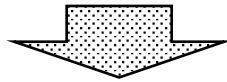
この1年間に、どのようなスポーツイベント、大会に参加したかを聞いた。(M. A.)

(本文P42～P44)

- ・「競技イベントや競技大会（野球大会、マラソン大会など）」が4%でトップ
- ・「地域のイベントや体験会（町会、老人会、子供会などの教室など）」と「職場（会社）のイベントや大会（ボウリング大会、野球大会、駅伝大会など）」2%が続く

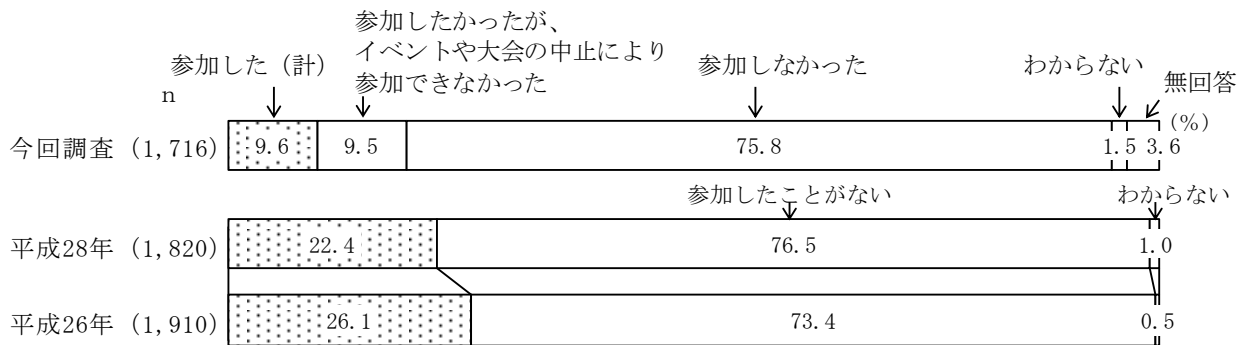


〔 上記選択肢を答えた人を『参加した (計)』とし、「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」「参加しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[この1年間のスポーツイベント、大会への参加の有無]

- ・『参加した (計)』は10% (平成28年より13ポイント減少)
- ・「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」は10%、「参加しなかった」は76%



(注1) 『参加した (計)』は、今回調査は「参加したかったが、イベントや大会の中止により参加できなかった」「参加しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合、前回までの調査は「参加したことがない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成28年9月調査)」

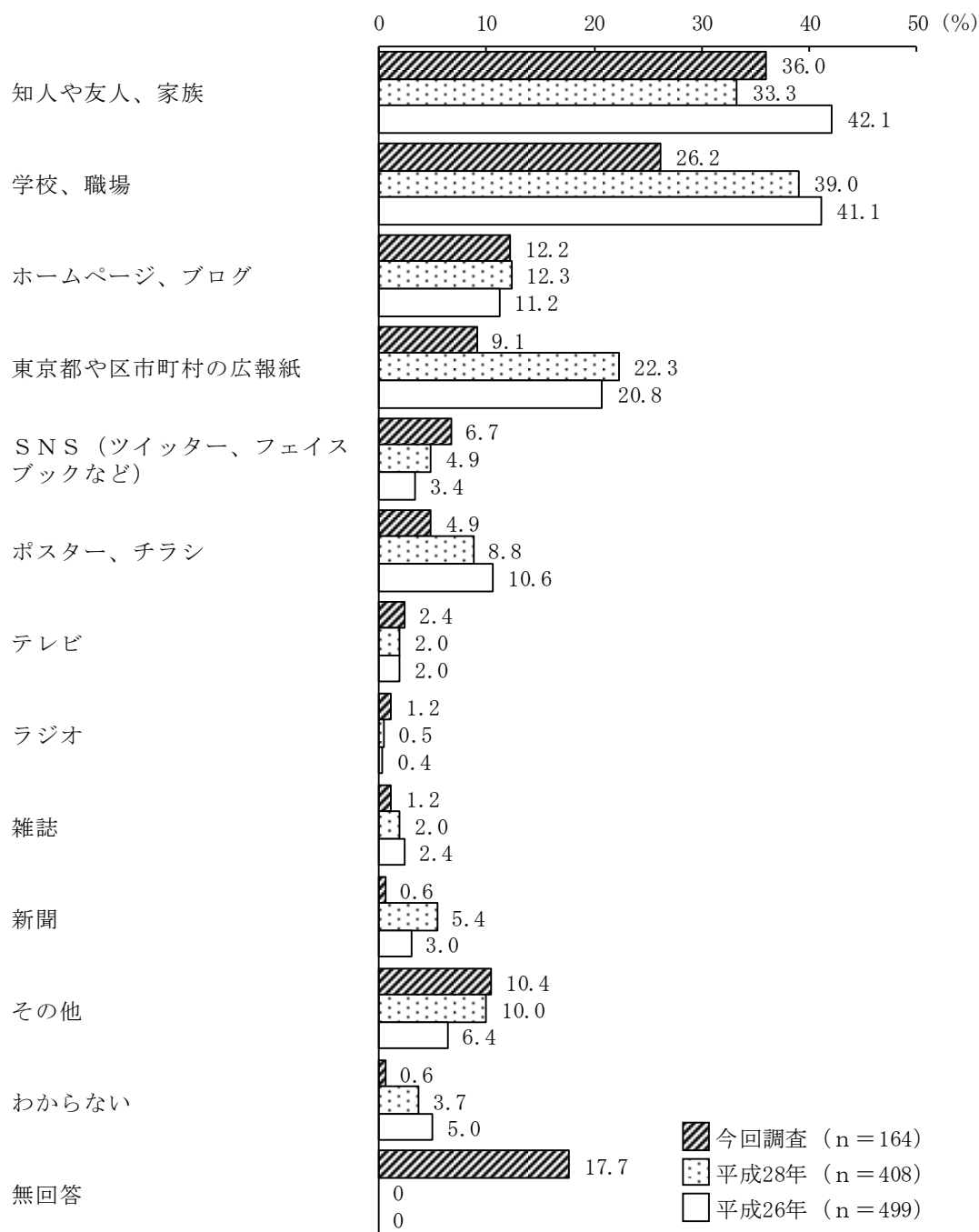
平成26年は「都民のスポーツ活動に関する世論調査 (平成26年10月調査)」

(10) イベントや大会の情報の入手先：

この1年間にスポーツイベント、大会に参加したと答えた人（164人）に、その情報をどこから得たかを聞いた。（M. A.）

（本文P45～P47）

- ・「知人や友人、家族」が36%でトップ（平成28年より3ポイント増加）
- ・「学校、職場」26%、「ホームページ、ブログ」12%が続く



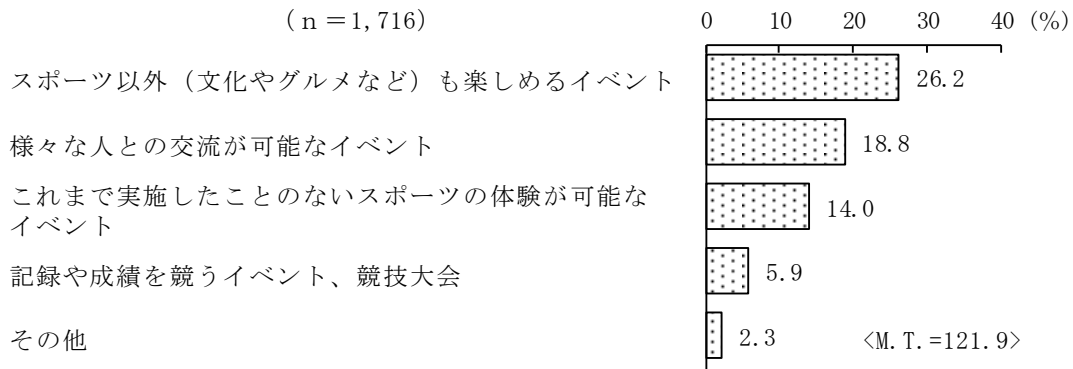
（注）平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成28年9月調査）」
平成26年は「都民のスポーツ活動に関する世論調査（平成26年10月調査）」

(11) 今後のスポーツイベント、大会への参加意向：

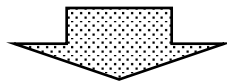
今後、どのようなスポーツイベント、大会に参加したいと思うかを聞いた。(M. A.)

(本文 P 48～P 51)

- ・「スポーツ以外（文化やグルメなど）も楽しめるイベント」が 26% でトップ
- ・「様々な人との交流が可能なイベント」19%、「これまで実施したことのないスポーツの体験が可能なイベント」14%が続く

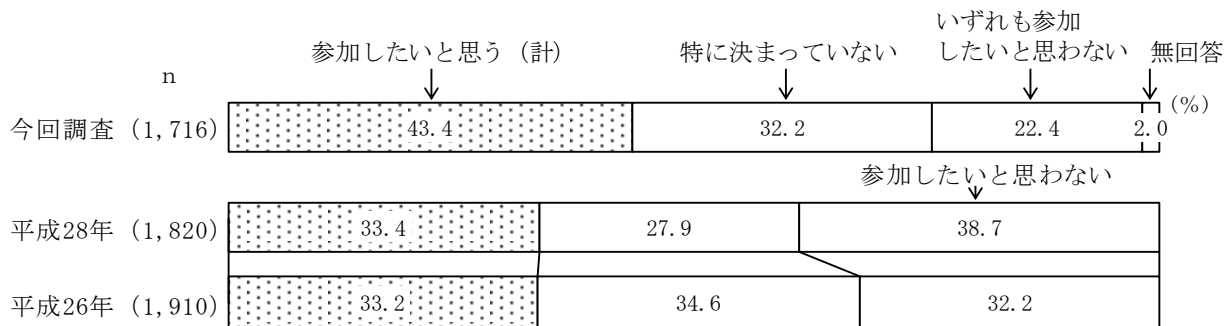


〔 上記選択肢を答えた人を『参加したいと思う（計）』とし、「特に決まっていない」、「いずれも参加したいと思わない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[今後のスポーツイベント、大会への参加意向の有無]

- ・『参加したいと思う（計）』は 43%（平成 28 年より 10 ポイント増加）
- ・「いずれも参加したいと思わない」は 22%（平成 28 年より 16 ポイント減少）



(注 1) 「いずれも参加したいと思わない」は平成 28 年までは「参加したいと思わない」

(注 2) 『参加したいと思う（計）』は「特に決まっていない」「いずれも参加したいと思わない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注 3) 平成 28 年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成 28 年 9 月調査）」

平成 26 年は「都民のスポーツ活動に関する世論調査（平成 26 年 10 月調査）」

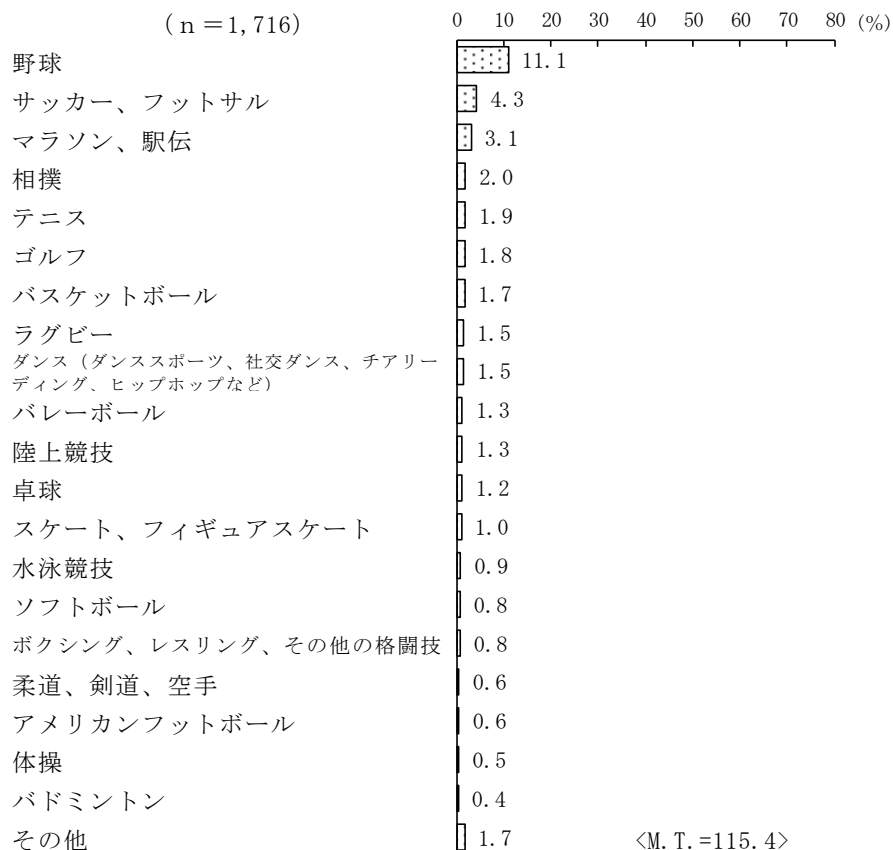
3 みるスポーツ

(1) この1年間に実際に観戦したスポーツ：

この1年間にスタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦したスポーツの種目を聞いた。(M. A.)
(本文 P 52～ P 55)

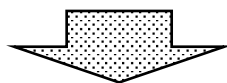
・「野球」が11%でトップ

・「サッカー、フットサル」4%、「マラソン、駅伝」3%が続く



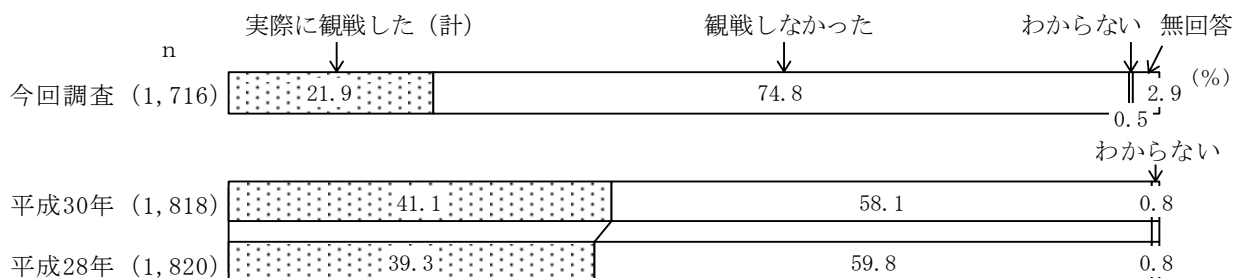
〔 上記選択肢を答えた人を『実際に観戦した (計)』とし、
「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕

〔この1年間のスポーツ観戦の有無〕



・『実際に観戦した (計)』は 22% (平成 30 年より 19 ポイント減少)

・「観戦しなかった」は 75% (平成 30 年より 17 ポイント増加)



(注 1) 『実際に観戦した (計)』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注 2) 平成 30 年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成 30 年 9 月調査)」

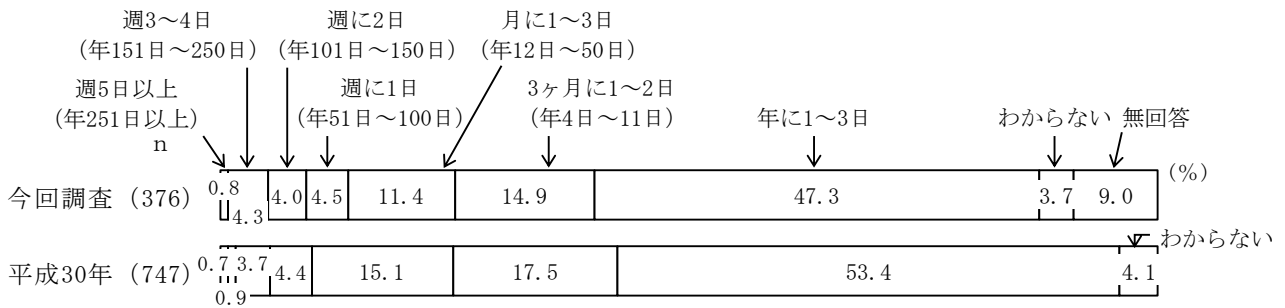
平成 28 年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成 28 年 9 月調査)」

(2) 実際にスポーツを観戦した日数：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（376人）に、スポーツを観戦した頻度はどの程度かを聞いた。

（本文P56～P58）

- ・「年に1～3日」が47%でトップ（平成30年より6ポイント減少）
- ・「3ヶ月に1～2日（年4日～11日）」15%、「月に1～3日（年12日～50日）」11%が続く



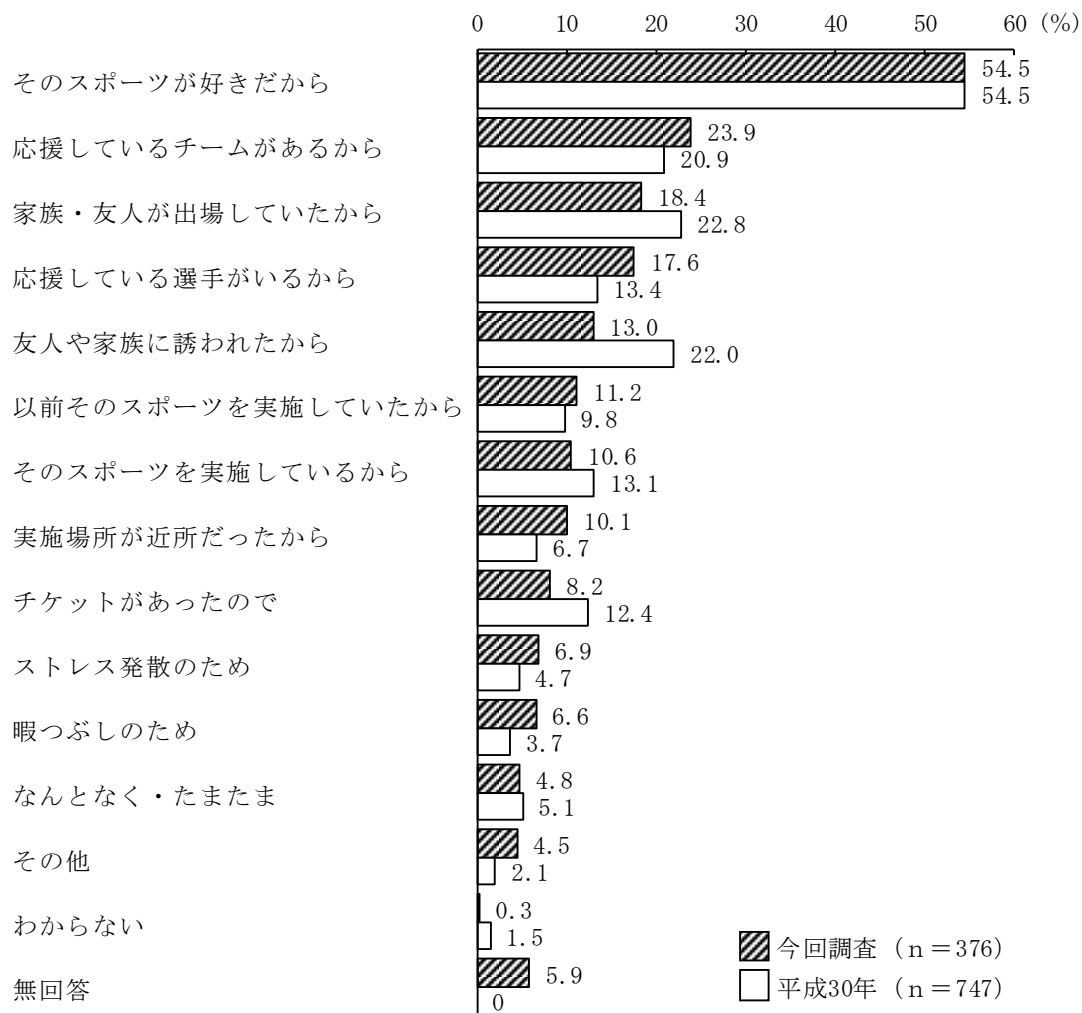
（注）平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(3) スポーツを観戦した理由：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（376人）に、観戦した理由を聞いた。（M. A.）

（本文P59～P61）

- ・「そのスポーツが好きだから」が55%でトップ
- ・「応援しているチームがあるから」24%、「家族・友人が出場していたから」と「応援している選手がいるから」18%が続く



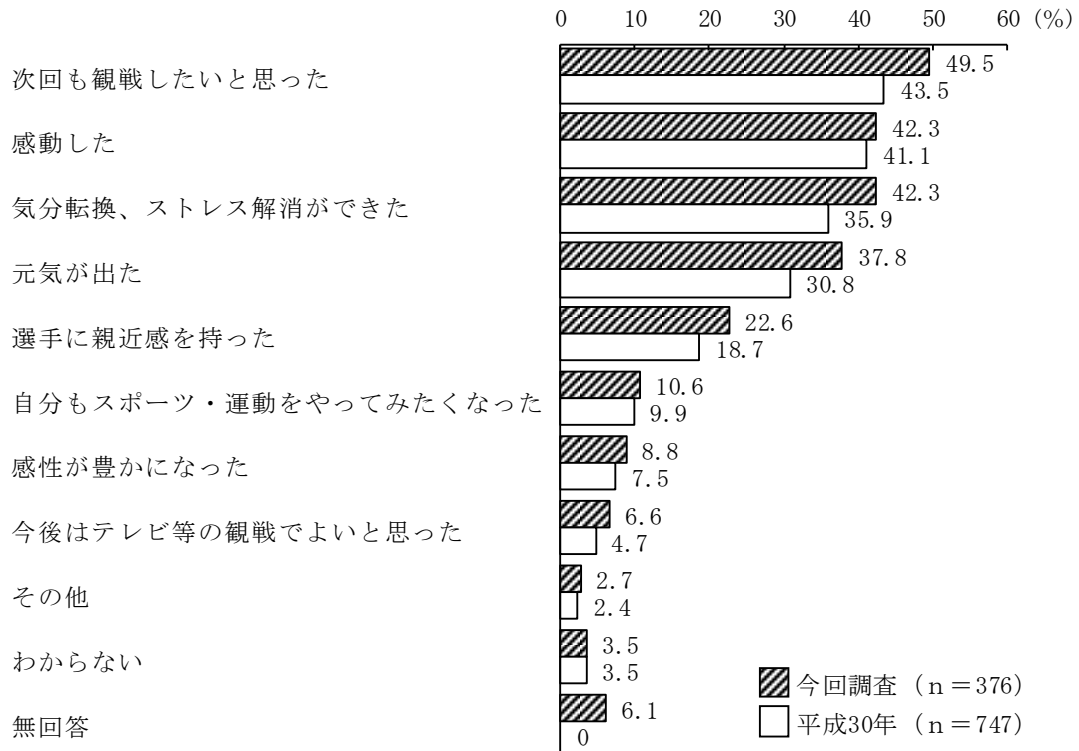
(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(4) スポーツを実際に観戦して、強く感じたこと：

この1年間に実際にスポーツを観戦したことがあると答えた人（376人）に、実際に観戦して、テレビ等観戦と比較してどのようなことを強く感じたかを聞いた。（M. A.）

（本文P62～P64）

- ・「次回も観戦したいと思った」が50%でトップ（平成30年より6ポイント増加）
- ・「感動した」と「気分転換、ストレス解消ができた」42%が続く



(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

(5) スポーツを実際に観戦してみようと思う取組・工夫：

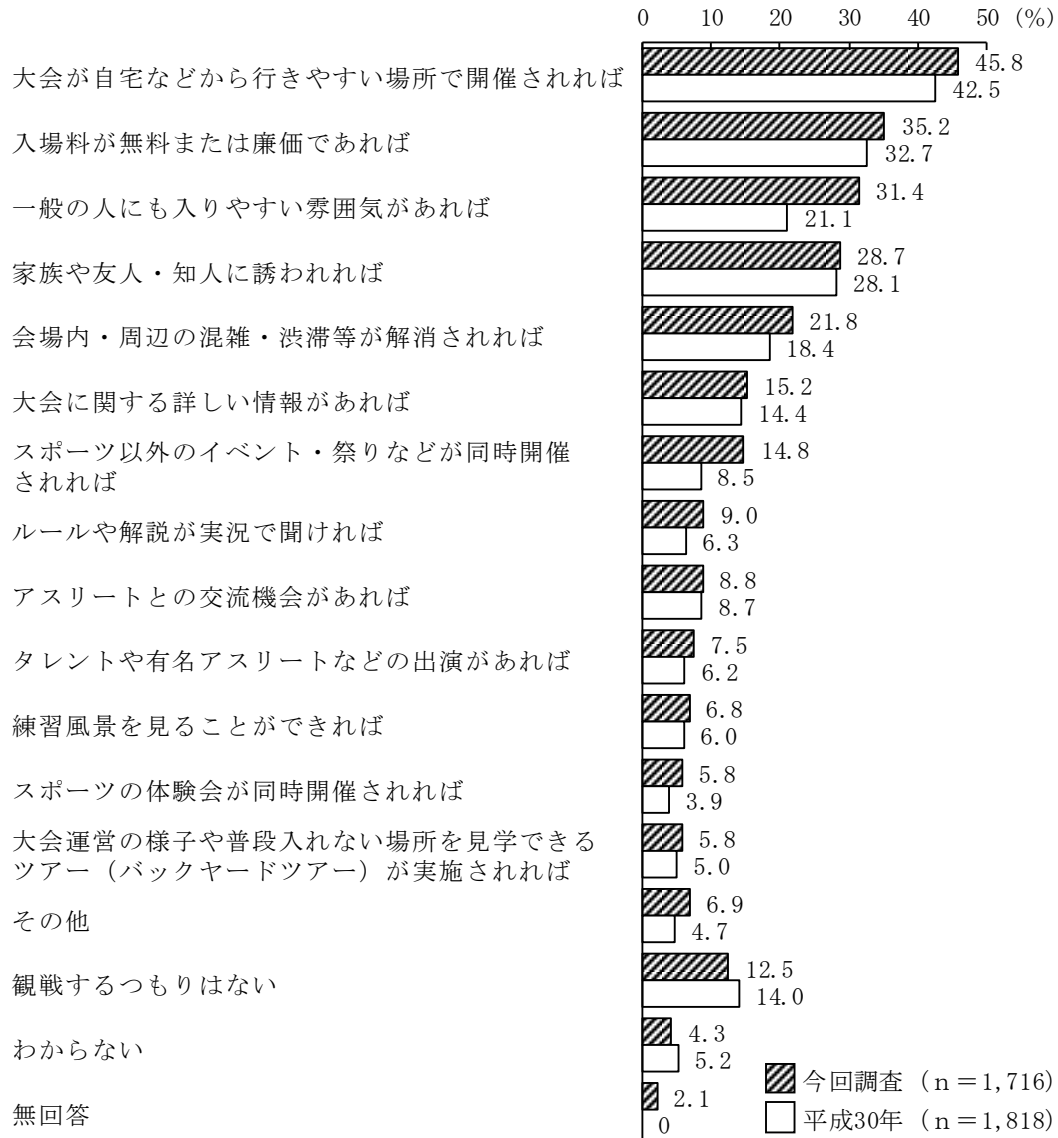
どのような取組・工夫があればスポーツを実際に（さらに）観戦してみようと思うかを聞いた。

(M. A.)

(本文P65～P67)

・「大会が自宅などから行きやすい場所で開催されれば」が46%でトップ（平成30年より3ポイント増加）

・「入場料が無料または廉価であれば」35%、「一般の人にも入りやすい雰囲気があれば」31%が続く



(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

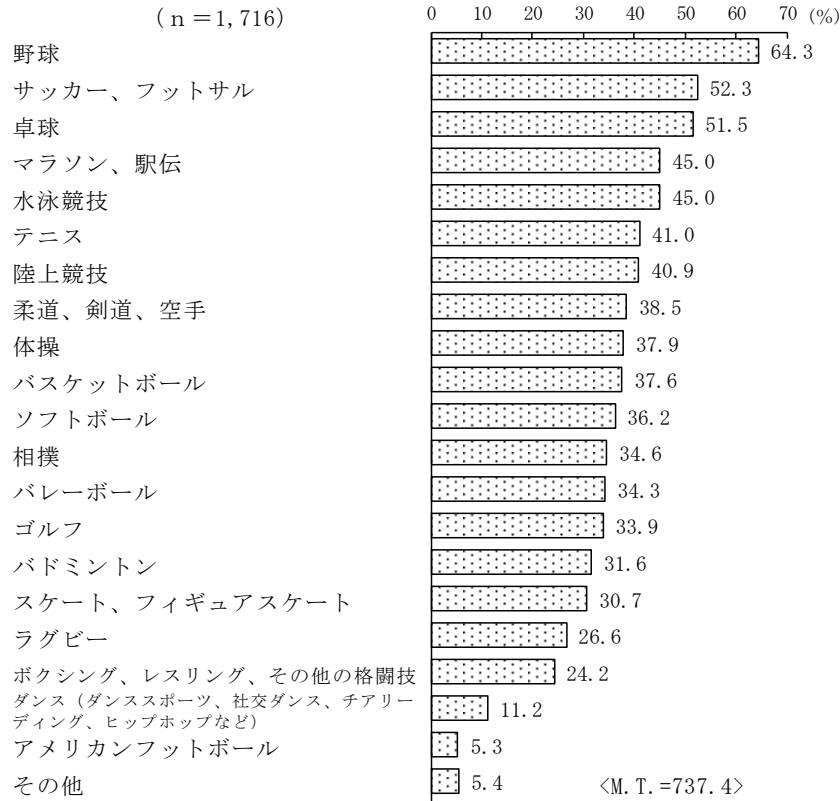
(6) この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツ：

この1年間にテレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦したスポーツの種目を聞いた。

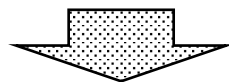
(M. A.)

(本文P68～P71)

- ・「野球」が64%でトップ
- ・「サッカー、フットサル」と「卓球」52%が続く

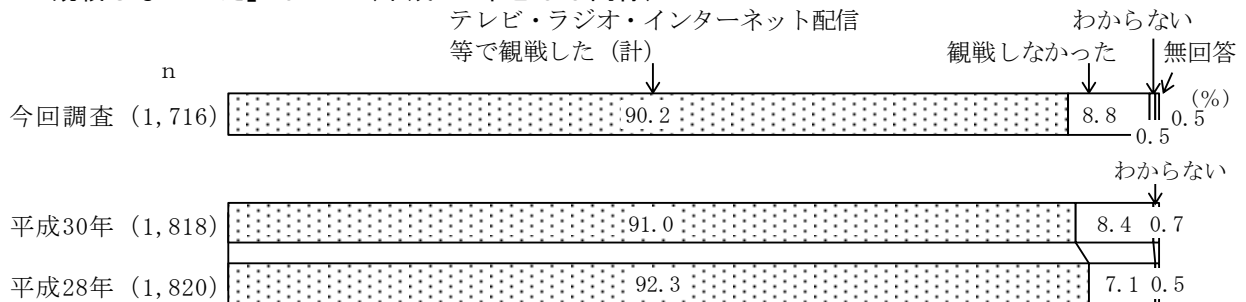


〔上記選択肢を答えた人を『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した (計)』とし、「観戦しなかった」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



〔この1年間のテレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦の有無〕

- ・『テレビ・ラジオ・インターネット配信等で観戦した (計)』は90% (平成30年とほぼ同様)
- ・「観戦しなかった」は9% (平成30年とほぼ同様)



(注1) 『テレビ・ラジオ・インターネット配信等での観戦した (計)』は「観戦しなかった」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(注2) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成30年9月調査)」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成28年9月調査)」

(7) テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦した日数：

テレビ・ラジオ・インターネット配信等でスポーツを観戦したことがあると答えた人（1,548人）に、スポーツを観戦した頻度はどの程度かを聞いた。

（本文P72～P73）

- ・「月に1～3日（年12日～50日）」が20%でトップ（平成30年より3ポイント減少）
- ・「週に1日（年51日～100日）」と「週に2日（年101日～150日）」14%が続く

	週5日以上 (年251日以上)	週3～4日 (年151日～250日)	週に2日 (年101日～150日)	週に1日 (年51日～100日)	月に1～3日 (年12日～50日)	3ヶ月に1～2日 (年4日～11日)	年に1～3日	わからない	無回答
今回調査 (1,548)	6.3	12.1	13.7	14.0	19.8	10.4	11.3	7.5	4.9
平成30年 (1,654)	7.6	13.4	15.7	17.8	22.3	9.6	8.9	4.8	

(%)

(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

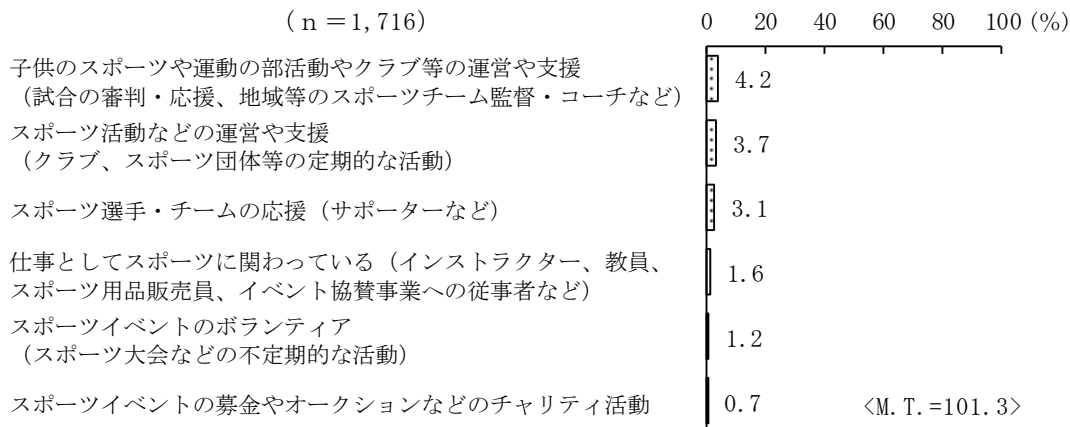
4 支えるスポーツ

(1) この1年間に関わったスポーツを支える活動：

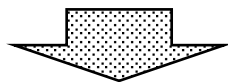
この1年間に関わったスポーツを支える活動を聞いた。(M. A.)

(本文P74～P79)

- ・「子供のスポーツや運動の部活動やクラブ等の運営や支援（試合の審判・応援、地域等のスポーツチーム監督・コーチなど）」と「スポーツ活動などの運営や支援（クラブ、スポーツ団体等の定期的な活動）」が4%
- ・「スポーツ選手・チームの応援（サポーターなど）」3%が続く

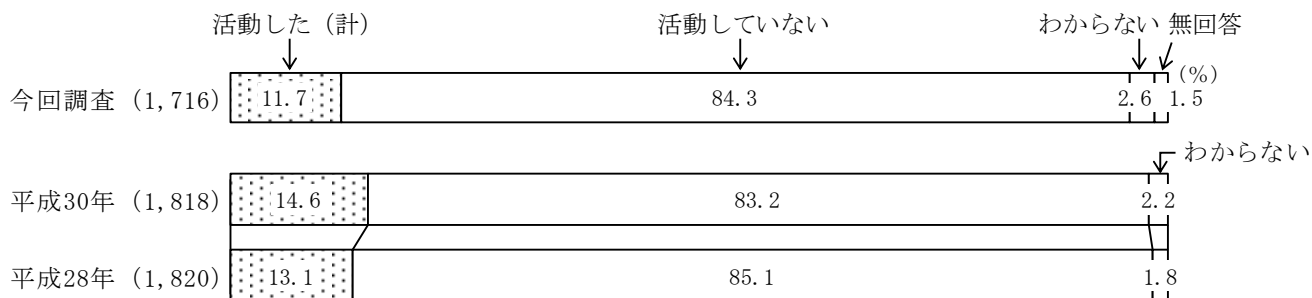


〔 上記選択肢を答えた人を『活動した (計)』とし、
「活動していない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[この1年間に関わったスポーツを支える活動の有無]

- ・『活動した (計)』は12% (平成30年より3ポイント減少)
- ・「活動していない」は84% (平成30年より1ポイント増加)



(注1) 『活動した (計)』は「活動していない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

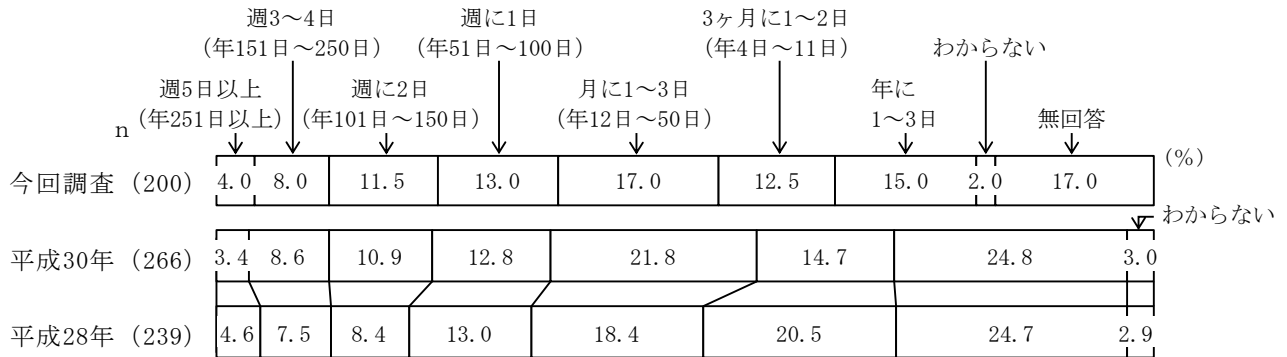
(注2) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成30年9月調査)」

平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査 (平成28年9月調査)」

(2) スポーツを支える活動を行った日数：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人(200人)に、活動を行った頻度はどの程度かを聞いた。
(本文P80～P82)

- ・「月に1～3日(年12日～50日)」が17%でトップ(平成30年より5ポイント減少)
- ・「年に1～3日」15%(平成30年より10ポイント減少)

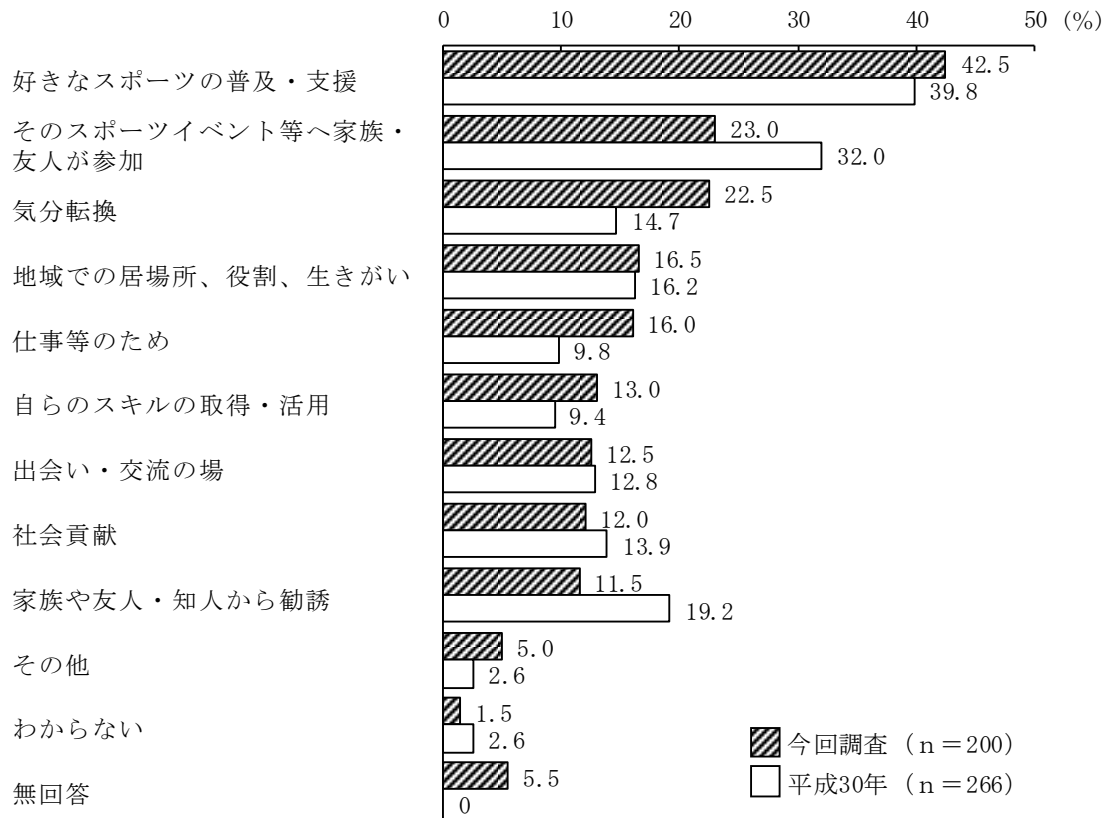


(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」
平成28年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成28年9月調査)」

(3) スポーツを支える活動を行った理由：

スポーツを支える活動を行ったと答えた人(200人)に、活動を行った理由を聞いた。(M.A.)
(本文P83～P86)

- ・「好きなスポーツの普及・支援」が43%でトップ(平成30年より3ポイント増加)
- ・「そのスポーツイベント等へ家族・友人が参加」と「気分転換」23%が続く



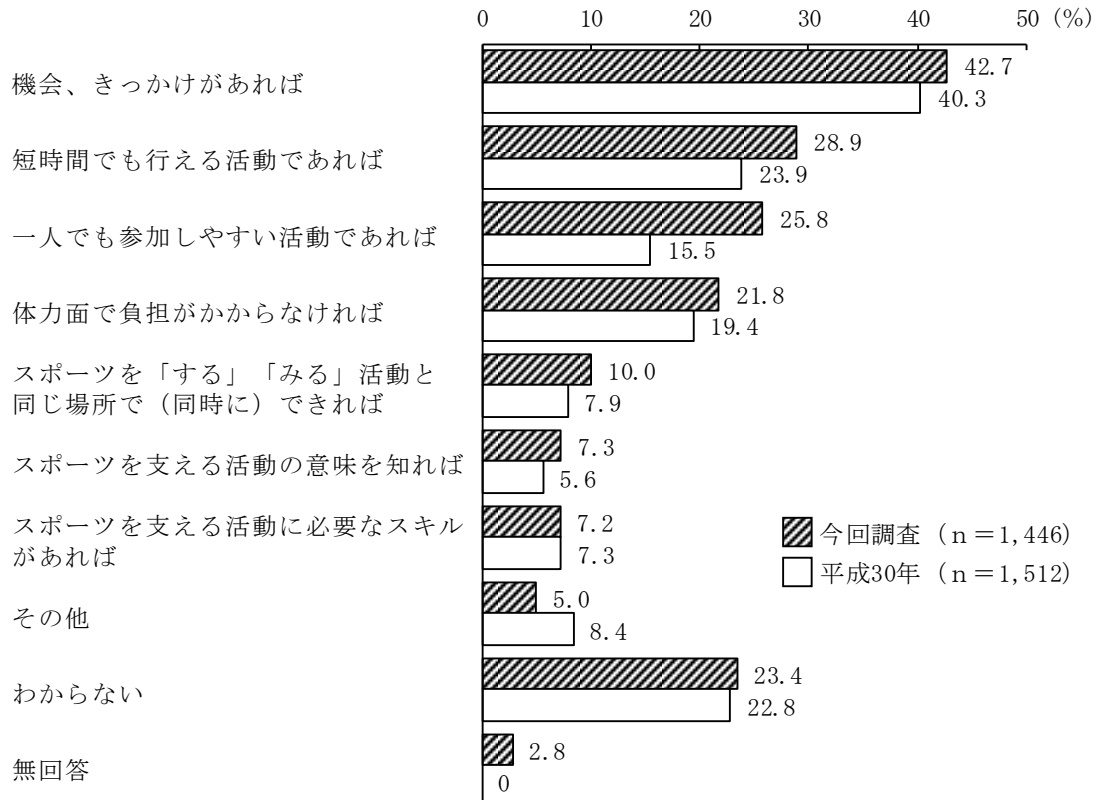
(注) 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査(平成30年9月調査)」

(4) スポーツを支える活動を行える、活動する人を増やせると思う環境：

スポーツを支える活動をしていないと答えた人（1,446人）に、どのような環境が整えば、スポーツを支える活動を行える、また活動する人を増やせると思うかを聞いた。（M. A.）

（本文 P87～P90）

- ・「機会、きっかけがあれば」が43%でトップ（平成30年より2ポイント増加）
- ・「短時間でも行える活動であれば」29%、「一人でも参加しやすい活動であれば」26%が続く



（注）平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」

5 パラスポーツ（障害者スポーツ）への関心度等

(1) パラスポーツへの関心度：パラスポーツへの関心度を聞いた。

(本文 P91～P94)

- ・『関心がある（計）』は 53%（令和 2 年より 9 ポイント増加）
- ・『関心がない（計）』は 39%（令和 2 年より 4 ポイント減少）

n	関心度					関心がある （計）	関心がない （計）
	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	わからない		
今回調査 (1,716)	15.7	37.3	26.3	12.8	6.5	53.0	39.2
令和 2 年 (2,273)	12.5	31.1	31.4	11.8	10.8	43.6	43.2
令和元年 (1,843)	13.6	37.1	30.3	13.2	5.9	50.7	43.5

(注 1) 『関心がある（計）』は「関心がある」「やや関心がある」の合計

『関心がない（計）』は「関心がない」「あまり関心がない」の合計

(注 2) 令和 2 年は「都民生活に関する世論調査（令和 2 年 9 月調査）」

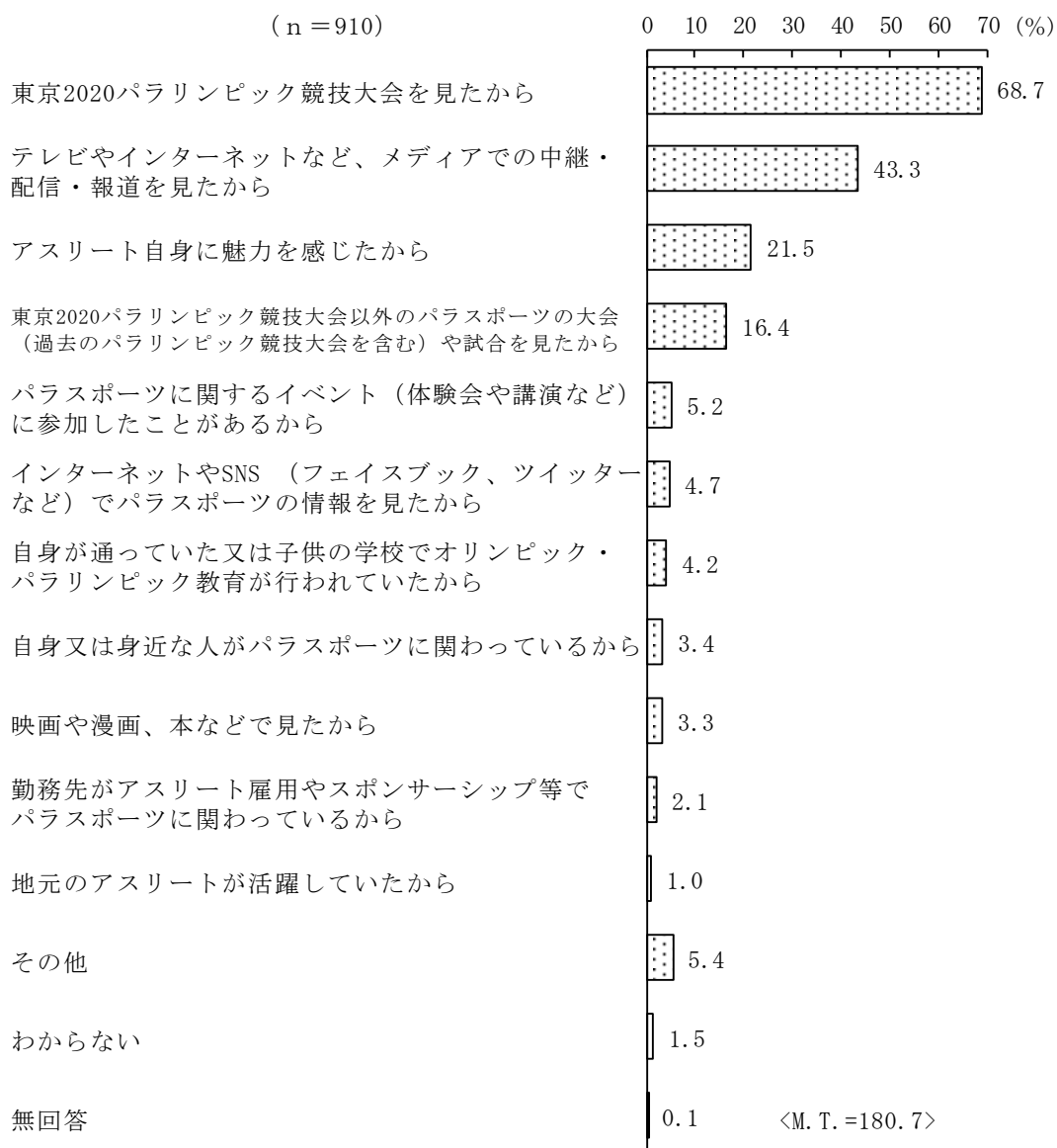
令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査（令和元年 11 月調査）」

(2) パラスポーツに関心を持ったきっかけ：

パラスポーツに関心があると答えた人（910人）に、パラスポーツに関心を持ったきっかけを聞いた。（M. A.）

（本文P95～P97）

- ・「東京2020パラリンピック競技大会を見たから」が69%でトップ
- ・「テレビやインターネットなど、メディアでの中継・配信・報道を見たから」43%、「アスリート自身に魅力を感じたから」22%が続く

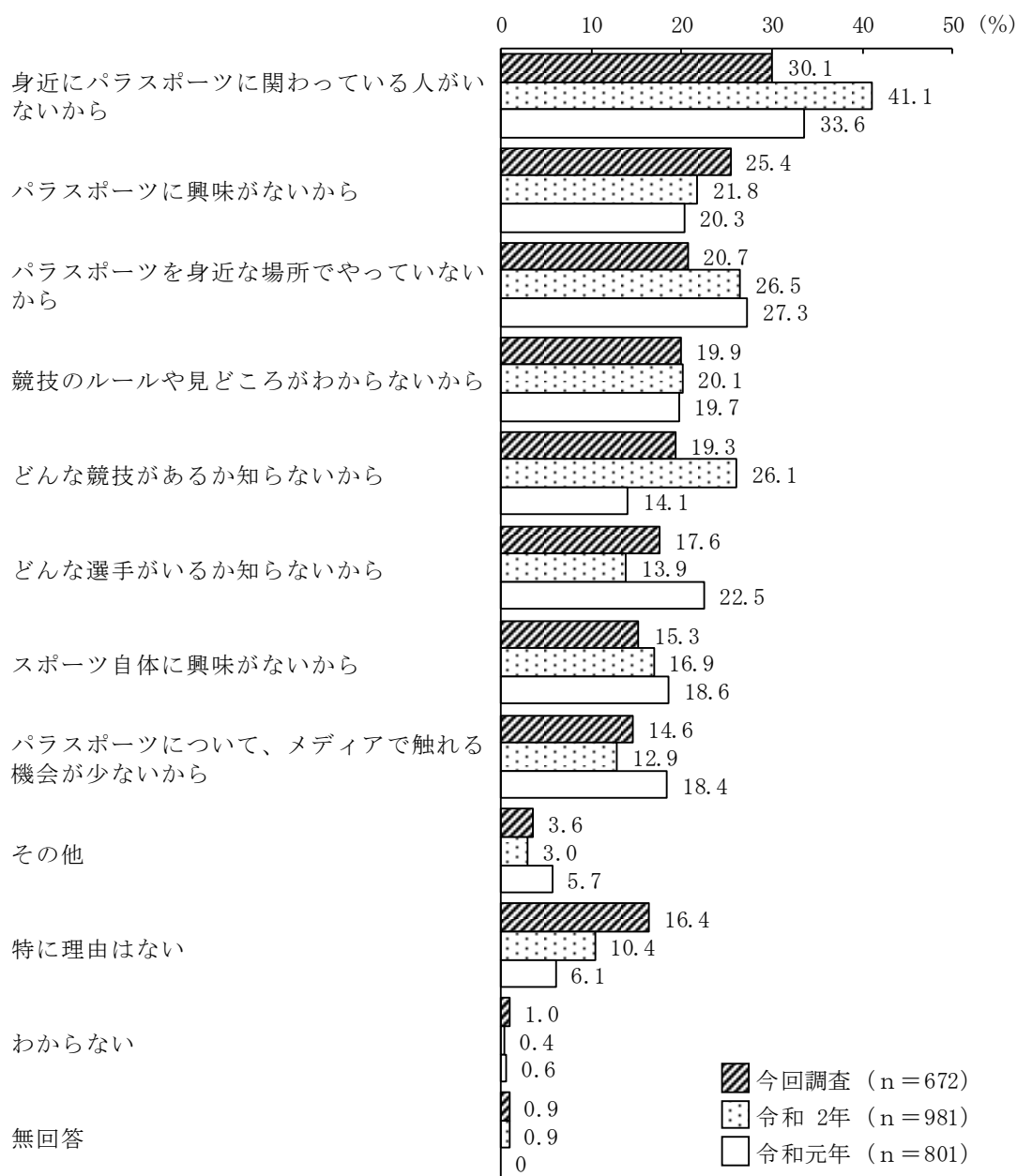


(3) パラスポーツに関心がない理由：

パラスポーツに関心がないと答えた人（672人）に、関心がない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P98～P101）

- ・「身近にパラスポーツに関わっている人がいないから」が30%でトップ（令和2年より11ポイント減少）
- ・「パラスポーツに興味がないから」25%、「パラスポーツを身近な場所でやっていないから」21%が続く



(注) 令和2年は「都民生活に関する世論調査（令和2年9月調査）」

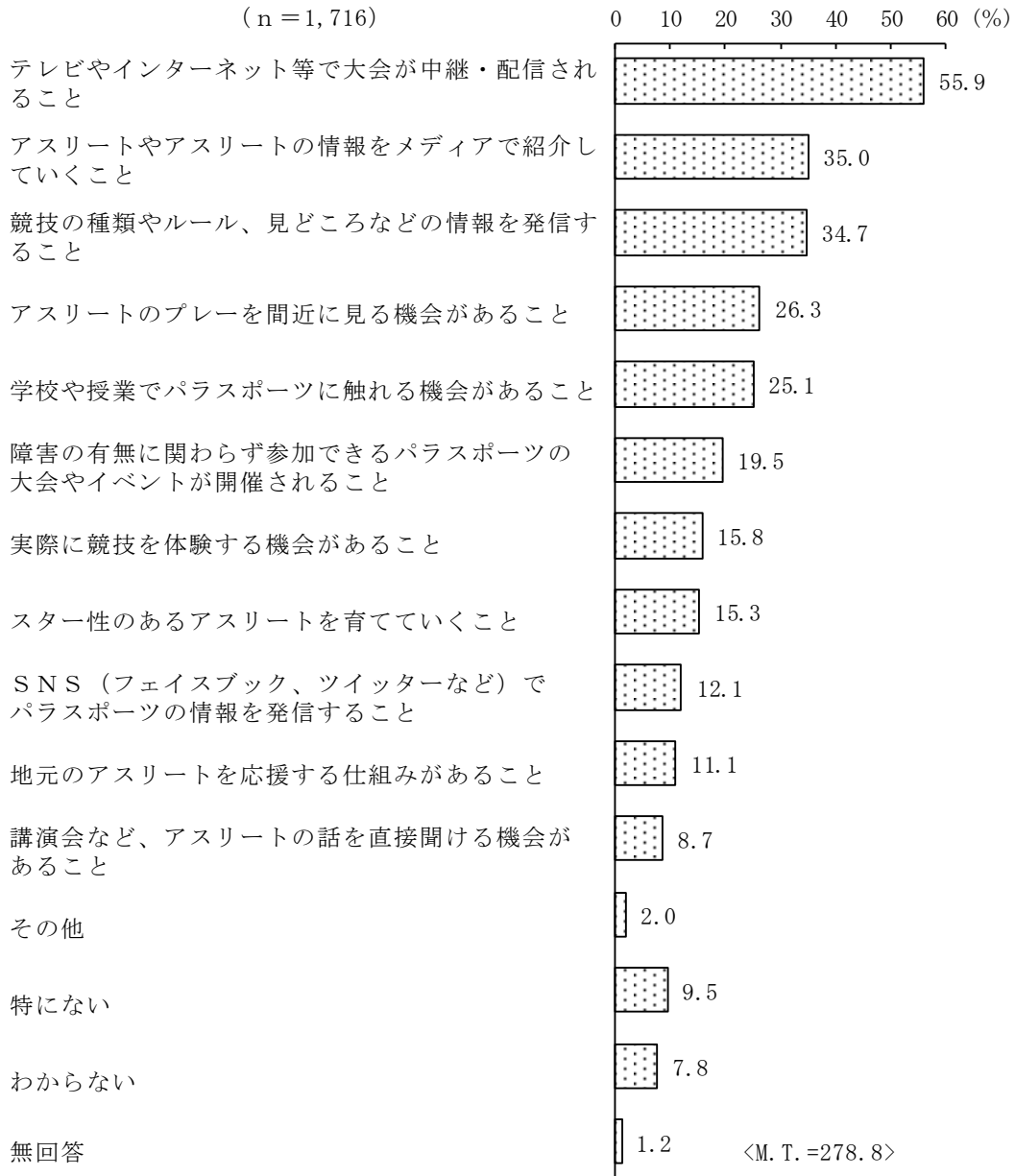
令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査（令和元年11月調査）」

(4) パラスポーツへの関心が高まる取組：

どのような取組があればパラスポーツへの関心が高まると思うかを聞いた。(M. A.)

(本文P102～P104)

- ・「テレビやインターネット等で大会が中継・配信されること」が56%でトップ
- ・「アスリートやアスリートの情報をメディアで紹介していくこと」35%、「競技の種類やルール、見どころなどの情報を発信すること」35%が続く

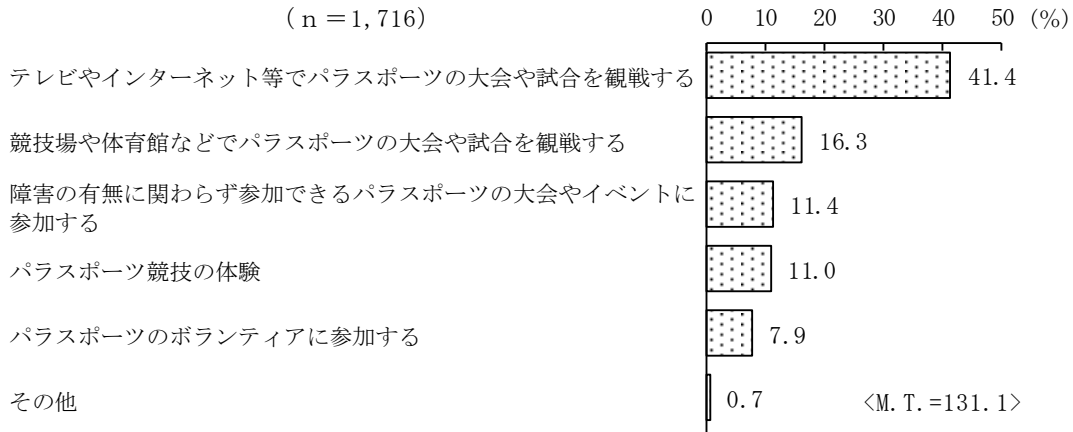


(5) パラスポーツへの関わり意向：

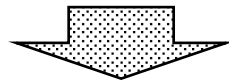
これからどのようにパラスポーツに関わってみたいかを聞いた。(M. A.)

(本文 P 105～P 107)

- ・「テレビやインターネット等でパラスポーツの大会や試合を観戦する」が 41% でトップ
- ・「競技場や体育館などでパラスポーツの大会や試合を観戦する」16%、「障害の有無に関わらず参加できるパラスポーツの大会やイベントに参加する」と「パラスポーツ競技の体験」11%が続く



〔 上記選択肢を答えた人を『意向あり (計)』とし、「特にない」と答えた人との比率をみると以下の通り。 〕



[パラスポーツへの関わり意向の有無]

- ・『意向あり (計)』は 56%
- ・「特にない」は 31%



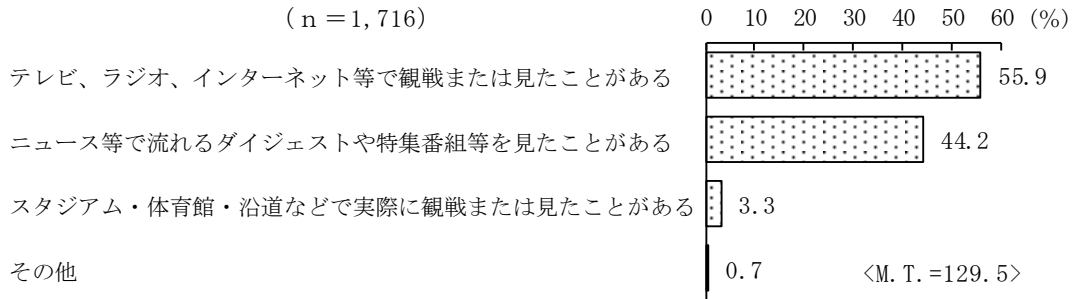
(注) 『意向あり (計)』は「特にない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(6) パラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験：

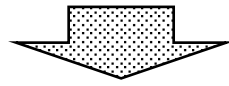
これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験について聞いた。(M. A.)

(本文P108～P111)

- ・「テレビ、ラジオ、インターネット等で観戦または見たことがある」が56%でトップ
- ・「ニュース等で流れるダイジェストや特集番組等を見たことがある」44%、「スタジアム・体育館・沿道などで実際に観戦または見たことがある」3%が続く

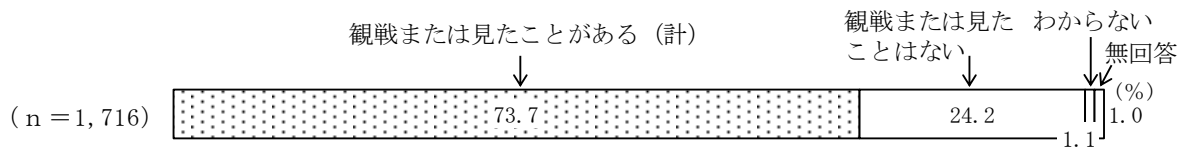


〔 上記選択肢を答えた人を『観戦または見たことがある (計)』とし、「観戦または見たことがない」と答えた人との比率をみると以下の通り。〕



〔これまでにパラスポーツやパラリンピック競技を観戦または見た経験の有無〕

- ・『観戦または見たことがある (計)』は74%
- ・「観戦または見たことがない」は24%

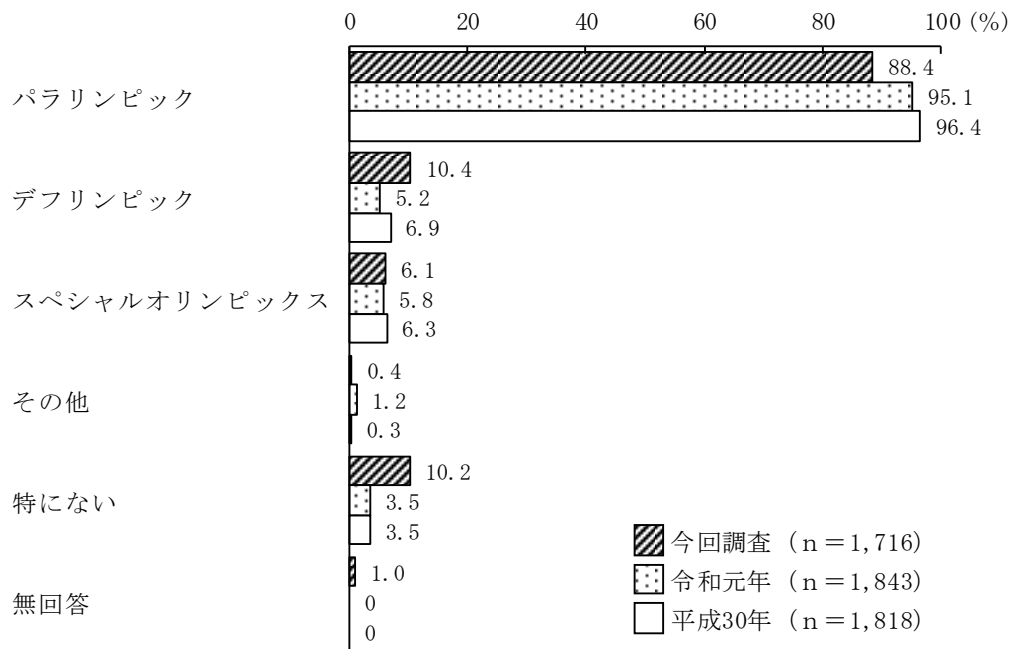


(注) 『観戦または見たことがある (計)』は「観戦または見たことがない」「わからない」以外の選択肢を選んだ人の割合

(7) パラスポーツの国際大会の認知度：パラスポーツの国際大会の認知度を聞いた。(M. A.)

(本文P112～P114)

- ・「パラリンピック」が88%でトップ（令和元年より7ポイント減少）
- ・「デフリンピック」10%、「スペシャルオリンピックス」6%が続く



(注) 令和元年は「オリンピック・パラリンピック開催、障害者スポーツに関する世論調査（令和元年11月調査）」
 平成30年は「都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査（平成30年9月調査）」